

万博外国人インターン生研修を経て

このたび弊社は大阪・関西万博「ORA 外食パビリオン宴 -UTAGE-」において半年を通してキャストを務める、外国人インターンシップ生への研修を担当させていただきました。

Vol.20 の通信で研修についてご紹介したのがつい昨日のことのようですが、3か月の研修期間があっという間に過ぎ、今やインターン生各々がキャストとして独り立ちし、日々活躍しています。

研修は最初、彼らがまだ母国にいる状態でオンライン形式にて始まりました。カリキュラムは日本語や日本の接遇マナー、チームビルディング…等、そもそも母国ではまだ学生である彼らにとって「仕事のための研修」は人生で初めてのこと。特に日本語については一部の人を除き、“こんにちは”のレベルからのスタートでした。さらに、日本人と接したこと自体がないという人たちもあり・・・研修初日、我々が画面越しに初めて日本語で話し掛けた時の、彼らの引きつった顔が今でも忘れられません。

パビリオンで実際に彼らとともに UTAGE でお仕事をなさったことのある方は、ここまで読み進めて少し驚かれたのではないのでしょうか。キャストとして前線に立つ現在の彼らは明るく朗らかで、おまけに決して完璧ではないものの、日本語も臆することなく発しているからです。彼らのこの3ヶ月間の成長ぶりは普段から外国人学習者と接している我々からしても目を見張るものであり、海外からやって来る若者達に秘められた無限の可能性に、改めて驚かされた次第です。

しかしそれと同時に、外国人材の成長の鍵は周りの環境にもあるのだと、今回の研修を経て強く実感しました。

3月下旬に来日しパビリオンでともに働く方々と触れ合い始めてから、彼らの成長速度は少しずつ増しました。そして万博が開幕した後はさらに加速し、明朗かつ意欲的に研修で学んだことをいかす現在の彼らに至ったのです。もちろん本人達のたゆまぬ努力も要因の一つです。しかしそれだけではありません。開幕から1か月間、OJTのため我々も現場におりましたが、彼らと接する事務局の方々や会員企業様よりお越しのキャストの皆さまが、本当に分け隔てなく彼らを受け入れ接してくださいました。

そのおかげで彼らの中にある心の壁が取り払われたことが、飛躍的な成長と活躍の大きな要因だと捉えています。深く感謝申し上げます。

「本人達の学び」×「分け隔てなく受け入れる環境」＝ 外国人材の成長・活躍…という形が成立している UTAGE パビリオンは、今後ますます日本社会で進んでいくであろう外国人材の受け入れに、示唆を与える存在になると確信しています。モデルケースたるインターン生全員が、10月13日の最終日まで明るく前向きに走り続けてくれることを願ってやみません。

これから UTAGE に関わられる皆さま方には、引き続き彼らへの温かいご支援のほど、よろしくお願いいたします。

株式会社 Futaba（ORA 賛助会員社）

代表取締役 国定 三恵 (ORA 外国人雇用促進部門会 業務委員)

就労外国人向け企業出張研修や技能実習生の生活指導を含めたトータルサポート、日本人社員向け研修で多数の実績を収めている。

あらゆる国の学習者と触れ合っていく中で、お互いが相手の価値観を理解し、認め合うことが大切だと感じ、共に笑い(共笑)、共に成長し(共育)、共に人生を楽しめる(共楽)、多文化共生社会を目指す。その原点に立ち、現在は日本在住の外国人の方々へ言語指導だけではなく、日本の文化、慣習、ビジネスマナーから日常の生活指導まで幅広いサポートを実施している。

